

Arcserve Backup for Windows

バージョン比較表

Rev: 6.0

(Arcserve Backup 19.0 ~ Arcserve Backup r11.5)

すべての製品名、サービス名、会社名およびロゴは、各社の商標、または登録商標です。

本ガイドは情報提供のみを目的としています。Arcserve (USA), LLC. は本情報の正確性または完全性に対して一切の責任を負いません。

Arcserve (USA), LLC. は、該当する法律が許す範囲で、いかなる種類の保証（商品性、特定の目的に対する適合性または非侵害に関する默示の保証を含みます（ただし、これに限定されません））も伴わずに、このドキュメントを「現状有姿で」提供します。Arcserve (USA), LLC. は、利益損失、投資損失、事業中断、営業権の喪失、またはデータの喪失など（ただし、これに限定されません）、このドキュメントに関連する直接損害または間接損害については、Arcserve (USA), LLC. がその損害の可能性の通知を明示的に受けている場合であっても一切の責任を負いません。

© 2014-2022 Arcserve (USA), LLC. All rights reserved.

arcserve®

Arcserve Backup for Windows バージョン比較 (Rev: 6.0)

2022年4月13日

凡例 (○: 本体標準機能 ○: オプション/エージェント機能 △: 本体機能で部分対応 -: 機能なし)

機能	Release Version	19.0	18.0	r17.5	r17	r16.5	r16	r15	r12.5	r12	r11.5	備考
バックアップ機能 & リストア機能												
ReFS サポート	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	
Windows OS 重複除去 サポート	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	
記憶域スペース サポート	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	
4K ネイティブを使用する HDD サポート	○	○	○	○	△	-	-	-	-	-	r16.5: 512Eのみサポート 詳細は技術文書を参照	
SMB ファイル共有の VSS サポート	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	
重複排除によるバックアップ データの削減	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	
ハードディスクへのバックアップ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
クラウド ストレージへのダイレクトバックアップ	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	
合成フルバックアップ	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	対応オプション/エージェント: Agent for Open Files (リモート: Client Agent for Windows要)
ステージング (D2D2T, D2D2D)	○	○	○	○	○	○	○	△	△	△	△	r15以降: 32ストリームに対応 (ストリーム: 一度に処理されるデータの流れの数)
クラウド ストレージへのステージング (D2D2C)	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	
テープ装置からテープ装置へのステージング (D2T2T)	○	○	○	○	○	○	○	△	△	△	-	
ステージング コピー先を 2箇所指定 (ダブルテープコピー)	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	r16.5 SP1以降
Disaster Recovery: 差分/増分データ復旧	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	対応オプション/エージェント: Disaster Recovery Option (リモート: Client Agent for Windows要)
MUI (Multi-Lingual User Interface) サポート	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
Active Directory 詳細レベル リストア	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	
BitLocker 暗号化 サポート	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	
EFS (暗号化ファイルシステム) サポート	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
バックアップ データの暗号化	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	r12以降の暗号化アルゴリズム: AES256
バックアップ時の暗号処理ノード(エージェント/サーバ)選択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	r12.5以降: サーバでの暗号化を標準機能化
バックアップ セッションへのパスワード付与	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
バックアップ専用LAN	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

※ Arcserve Backup 18.0 以下の旧バージョンでは、一部 Service Pack や公開モジュールの適用が必要となる機能があります。

© 2014-2022 Arcserve (USA), LLC. All rights reserved.

Arcserve Backup for Windows バージョン比較 (Rev: 6.0)

2022年4月13日

凡例 (○: 本体標準機能 ○: オプション/エージェント機能 △: 本体機能で部分対応 -: 機能なし)

機能	Release Version	19.0	18.0	r17.5	r17	r16.5	r16	r15	r12.5	r12	r11.5	備考
		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
VSS ライタによるアプリケーション保護		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	対応オプション/エージェント: Agent for Open Files (リモート: Client Agent for Windows要)
VSS によるスナップショット対応		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	対応オプション/エージェント: Agent for Open Files (リモート: Client Agent for Windows要)
下位バージョン互換 サポート	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	
Windows OS 上の raw バックアップ	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	対応オプション/エージェント: Enterprise Module (リモート: Client Agent for Windows要)
JIS2004 対応	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
日数の追加オプション (カスタム スケジュール)	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	
カスタム スケジュールでのメディア プール サポート	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
バックアップ順序の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
バックアップの成功率の向上(グローバル再利用セット)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	r15以降: 既定値セット
チュートリアルによる Arcserve Backup の使い方支援	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
コマンドライン サポート	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
スクリプト実行(cabatch)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
ジョブのテンプレート保存	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
64bit (Intel64 / x64 環境) サポート	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
64bit (Itanium IA64環境) サポート	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○	
Linux サポート	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	対応オプション/エージェント: Client Agent for Linux
UNIX サポート	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	対応オプション/エージェント: Client Agent for UNIX
指定時間超過ジョブの自動キャンセル	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	r17.5 SP1以降
クラウドへのデータ保管 (D2D2C / D2C) ※D2Cは r17.5 以降で対応												
Amazon S3 サポート	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	
Eucalyptus サポート	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	
Microsoft Azure サポート	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	

※ Arcserve Backup 18.0 以下の旧バージョンでは、一部 Service Pack や公開モジュールの適用が必要となる機能があります。

© 2014-2022 Arcserve (USA), LLC. All rights reserved.

Arcserve Backup for Windows バージョン比較 (Rev: 6.0)

2022年4月13日

凡例 (○: 本体標準機能 ○: オプション/エージェント機能 △: 本体機能で部分対応 -: 機能なし)

機能	Release Version	19.0	18.0	r17.5	r17	r16.5	r16	r15	r12.5	r12	r11.5	備考
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
国内クラウド サポート	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	
AWS Storage Gateway (VTL) サポート	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	VTLにマルチドライブを設定する場合: Tape Library Option 要
クラウド仮想マシンへの導入 (IaaS / PaaS 保護)												
Amazon EC2 上の仮想マシンでの利用	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	バックアップ対象により、各種エージェント要
Microsoft Azure 上の仮想マシンでの利用	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	バックアップ対象により、各種エージェント要
Windows Server 2022 Datacenter: Azure Edition 対応	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	バックアップ対象により、各種エージェント要
全クラウドの IaaS/PaaS サポート	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	バックアップ対象により、各種エージェント要
仮想環境サポート												
vSphere 環境での TLS 1.2 サポート	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	対応オプション/エージェント: Guest Based Virtual Machines Agent Bundle
利用ブロック抽出 (ブロック分析アプローチ)	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	対応オプション/エージェント: Guest Based Virtual Machines Agent Bundle
vSphere/Hyper-V 仮想マシン専用のリストア	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	対応オプション/エージェント: Guest Based Virtual Machines Agent Bundle
VMware View サポート	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	対応オプション/エージェント: Guest Based Virtual Machines Agent Bundle
vSphere(VMware) ESX/ESXi ゲストOSの物理方式バックアップ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	対応オプション/エージェント: Guest Based Virtual Machines Agent Bundle
vSphere ESX/ESXi: エージェントレス方式 (VCB)	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	-	対応オプション/エージェント: Guest Based Virtual Machines Agent Bundle
vSphere ESX/ESXi: エージェントレス方式 (VDDK: vStorage API)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	対応オプション/エージェント: Guest Based Virtual Machines Agent Bundle
vSphere vMotion / DRS / HA サポート	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	対応オプション/エージェント: Guest Based Virtual Machines Agent Bundle
vSphere FT サポート (エージェントベース方式)	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	対応オプション/エージェント: Guest Based Virtual Machines Agent Bundle
vSphere VVOLサポート	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	対応オプション/エージェント: Guest Based Virtual Machines Agent Bundle
vSphere エージェントレス方式の転送モード選択 (SAN 転送モード /NBD 転送モード /HAd Add 転送モード)	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	対応オプション/エージェント: Guest Based Virtual Machines Agent Bundle r16以前はArcserveによる自動選択

※ Arcserve Backup 18.0 以下の旧バージョンでは、一部 Service Pack や公開モジュールの適用が必要となる機能があります。

© 2014-2022 Arcserve (USA), LLC. All rights reserved.

Arcserve Backup for Windows バージョン比較 (Rev: 6.0)

2022年4月13日

凡例 (○: 本体標準機能 ○: オプション/エージェント機能 △: 本体機能で部分対応 -: 機能なし)

機能	Release Version	19.0	18.0	r17.5	r17	r16.5	r16	r15	r12.5	r12	r11.5	備考
		19.0	18.0	r17.5	r17	r16.5	r16	r15	r12.5	r12	r11.5	
Microsoft Windows Server 2022 Hyper-V サポート	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	対応オプション/エージェント: Guest Based Virtual Machines Agent Bundle
Microsoft Windows Server 2019 Hyper-V サポート	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	対応オプション/エージェント: Guest Based Virtual Machines Agent Bundle
Microsoft Windows Server 2016 Hyper-V サポート	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	対応オプション/エージェント: Guest Based Virtual Machines Agent Bundle
Microsoft Windows Server 2012/2012 R2 Hyper-V サポート	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	対応オプション/エージェント: Guest Based Virtual Machines Agent Bundle
Microsoft Windows Server 2008 R2 Hyper-V サポート	-	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	対応オプション/エージェント: Guest Based Virtual Machines Agent Bundle
Microsoft Windows Server 2008 Hyper-V サポート	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	対応オプション/エージェント: Guest Based Virtual Machines Agent Bundle
Hyper-V 記憶域スペース ダイレクト のサポート	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	対応オプション/エージェント: Guest Based Virtual Machines Agent Bundle
Microsoft Hyper-V: Hyper-V over SMB サポート	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	対応オプション/エージェント: Guest Based Virtual Machines Agent Bundle
Microsoft Hyper-V: Hyper-V レプリカ サポート	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	対応オプション/エージェント: Guest Based Virtual Machines Agent Bundle
Microsoft Hyper-V: ライブ マイグレーション サポート	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	対応オプション/エージェント: Guest Based Virtual Machines Agent Bundle
Microsoft Hyper-V: Quick Migration サポート	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	対応オプション/エージェント: Guest Based Virtual Machines Agent Bundle
KVM: RedHat サポート (エージェントベース方式)	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	対応ライセンス: Guest Based Virtual Machines Agent Bundle
Citrix XenServer サポート (エージェントベース方式)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	対応ライセンス: Guest Based Virtual Machines Agent Bundle
Nutanix AHV サポート (エージェントベース方式)	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	対応ライセンス: Guest Based Virtual Machines Agent Bundle
Oracle VM Server x86 サポート (エージェントベース方式)	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	対応ライセンス: Guest Based Virtual Machines Agent Bundle
VMware Workstation / Server サポート (エージェントベース方式)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	対応ライセンス: Guest Based Virtual Machines Agent Bundle
仮想ノードへのバックアップサーバ (本体製品) 導入サポート	◎	◎	◎	◎	◎	◎	△	△	△	△	△	r16以降: vSphereやHyper-Vにも対応

※ Arcserve Backup 18.0 以下の旧バージョンでは、一部 Service Pack や公開モジュールの適用が必要となる機能があります。

© 2014-2022 Arcserve (USA), LLC. All rights reserved.

Arcserve Backup for Windows バージョン比較 (Rev: 6.0)

2022年4月13日

凡例 (○: 本体標準機能 ○: オプション/エージェント機能 △: 本体機能で部分対応 -: 機能なし)

機能	Release Version	19.0	18.0	r17.5	r17	r16.5	r16	r15	r12.5	r12	r11.5	備考
		○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
P2V		○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	対応オプション/エージェント: Disaster Recovery Option (リモート: Client Agent for Windows要)
同じホスト名を持つ仮想マシンの保護		○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	対応オプション/エージェント: Guest Based Virtual Machines Agent Bundle
バックアップ速度の向上機能												
テープ ブロック サイズ拡張によるパフォーマンス向上		○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	
Image Option 64ビット OS 対応		○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	対応オプション/エージェント: Enterprise Module
Image Option 32ビット (Windows 2008) 対応		-	○	○	○	○	○	○	-	-	-	対応オプション/エージェント: Enterprise Module
Image Option 32ビット (Windows 2003まで) 対応		-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	対応オプション/エージェント: Enterprise Module
マルチストリーミング		○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	対応オプション/エージェント: Enterprise Module
マルチプレキシング		○	○	○	○	○	○	○	△	△	△	r15以降: 32ストリームまで標準機能で対応 (ストリーム: 一度に処理されるデータの流れの数)
Tape RAID 機能によるデータのストライピングと冗長化		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	対応オプション/エージェント: Tape Library Option
Arcserveシリーズ連携機能												
バックアップ データの遠隔地保管 (Arcserve Replication 連携)		-	○	○	○	○	○	○	○	-	-	19.0: Replication 連携は後日更新 (リモート: Client Agent for Windows要)
Arcserve UDP テープ連携 (Lite Integration): Arcserve UDP Windows の復旧ポイントのバックアップ		○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	Lite Integration: Arcserve Backup のバックアップ画面からArcserve UDP Windows ノードやプロキシを指定
Arcserve UDP テープ連携 (Lite Integration): 復旧ポイントサーバのデータストア単位のバックアップ		○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	Lite Integration: Arcserve Backup のバックアップ画面からArcserve UDP 復旧ポイントサーバのデータストアを指定

※ Arcserve Backup 18.0 以下の旧バージョンでは、一部 Service Pack や公開モジュールの適用が必要となる機能があります。

© 2014-2022 Arcserve (USA), LLC. All rights reserved.

Arcserve Backup for Windows バージョン比較 (Rev: 6.0)

2022年4月13日

凡例 (○: 本体標準機能 ○: オプション/エージェント機能 △: 本体機能で部分対応 -: 機能なし)

機能	Release Version	19.0	18.0	r17.5	r17	r16.5	r16	r15	r12.5	r12	r11.5	備考
		○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	
Arcserve UDP テープ連携 (Lite Integration): 復旧ポイントサーバのデータストア単位の増分バックアップ		○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	Lite Integration: Arcserve Backup のバックアップ画面からArcserve UDP 復旧ポイントサーバのデータストアを指定 (重複排除データストアの場合、マージ後はフルバックアップデータも取得)
Arcserve D2D テープ連携 (Lite Integration): Arcserve D2D Windows のノード / プロキシ選択		-	-	-	-	○	○	△	-	-	-	Lite Integration: Arcserve Backup のバックアップ画面からArcserve D2D Windows ノードやプロキシを指定
Arcserve UDP テープ連携: Arcserve UDP コンソールの "テープへのコピー" タスク サポート		-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	19.0: Arcserve UDP 8.x 次期バージョンとの組み合わせで対応予定
Arcserve UDP 復旧ポイントサーバのデータストアのバックアップ (Client Agent 経由)		-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	Agent for Open Files 要 (リモート環境: Client Agent for Windows要)
管理機能												
Alert: TLS / SSL SMTP サーバの対応		○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	
Alert: SMTP 認証への対応		○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	
Alert: x64 環境のトラブルチケット対応		○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	
3階層管理 (Arcserve Backup ドメイン)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	対応オプション/エージェント: Central Management Option
バックアップGUIの拡張 (グループ ビュー)		○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	
スケジュール結果の一覧表示 (ジョブ履歴表示)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
ジョブキューの集中化 (グローバル ジョブキュー)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
実行中のバックアップ ジョブのアカウント変更		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
アーカイブ機能		○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	
視覚化 (Infrastructure Visualization)		○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	
Dashboardの集中化 (Global Dashboard)		○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	対応オプション/エージェント: Global Dashboard, Central Management Option
Dashboard		○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	
セントラル エージェント管理		○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	
PKI (Performance Key Indicator) リソース監視		○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	

※ Arcserve Backup 18.0 以下の旧バージョンでは、一部 Service Pack や公開モジュールの適用が必要となる機能があります。

© 2014-2022 Arcserve (USA), LLC. All rights reserved.

Arcserve Backup for Windows バージョン比較 (Rev: 6.0)

2022年4月13日

凡例 (○: 本体標準機能 ○: オプション/エージェント機能 △: 本体機能で部分対応 -: 機能なし)

機能	Release Version	19.0	18.0	r17.5	r17	r16.5	r16	r15	r12.5	r12	r11.5	備考
		19.0	18.0	r17.5	r17	r16.5	r16	r15	r12.5	r12	r11.5	
暗号化パスワード保管	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	r12.5: 対応オプション/エージェント: Enterprise Module
監査ログ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	r12.5: 対応オプション/エージェント: Enterprise Module
7つの権限で最適なアカウント作成 (ユーザ プロファイル)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	r12.5: 対応オプション/エージェント: Enterprise Module
バックアップ メディア診断 (メディア検証)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	
パッチ管理 (Patch Manager)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
メディア管理機能 (MMO)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	対応オプション/エージェント: Enterprise Module
カタログ DB でバックアップ後のマージ時間を短縮	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
レポートライタでレポートをカスタマイズ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
バックアップ実行前にチェック (プレフライト チェック)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
コマンドをスケジュール登録 (ジョブ スケジューラ)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
ログ収集ツール (診断ユーティリティ)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
ハードウェア機能 & テープ装置機能												
uEFI 環境サポート	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	
uEFI 環境での Disaster Recovery 復旧サポート	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	対応オプション/エージェント: Disaster Recovery Option (リモート環境: Client Agent for Windows要)
SAN ブート環境サポート	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
SAN ブート環境での Disaster Recovery 復旧サポート	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	対応オプション/エージェント: Disaster Recovery Option (リモート環境: Client Agent for Windows要)
ハードウェアスナップショット サポート	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	対応オプション/エージェント: Enterprise Module, Agent for Open Files (リモート環境: Client Agent for Windows要)
NDMP NAS サポート	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	対応オプション/エージェント: NDMP NAS Option
NDMP NAS: 3way サポート	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	対応オプション/エージェント: NDMP NAS Option

※ Arcserve Backup 18.0 以下の旧バージョンでは、一部 Service Pack や公開モジュールの適用が必要となる機能があります。

© 2014-2022 Arcserve (USA), LLC. All rights reserved.

Arcserve Backup for Windows バージョン比較 (Rev: 6.0)

2022年4月13日

凡例 (○: 本体標準機能 ○: オプション/エージェント機能 △: 本体機能で部分対応 -: 機能なし)

機能	Release Version	19.0	18.0	r17.5	r17	r16.5	r16	r15	r12.5	r12	r11.5	備考
		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
NDMP NAS: 動的デバイス共有 サポート		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	対応オプション/エージェント: NDMP NAS Option, Central Management Option, SAN Option, Enterprise Module
NDMP NAS: Filer to Server サポート		○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	対応オプション/エージェント: NDMP NAS Option
NDMP NAS: SnapLock サポート		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	対応オプション/エージェント: NDMP NAS Option
テープ装置のハードウェア暗号化サポート		○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	r12.5: 対応オプション/エージェント: Enterprise Module
LTO-9 テープ装置のサポート		○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	
LTO-8 ドライブで初期化された LTO-7 タイプM メディア サポート		○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	
LTO-6 以降の論理ブロック保護 (LBP) サポート		○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	
USBテープ装置サポート		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
テープ装置修理後の自動グループ設定 (デバイス動的設定)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
テープ ライブライ装置の自動設定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
複数クリーニング メディア サポート		○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
SAN 環境サポート (テープ装置の SAN 共有)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	対応オプション/エージェント: SAN Option, Central Management Option
テープ ライブライ装置 (1ドライブ) サポート		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
テープ ライブライ装置 (マルチ ドライブ) サポート		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	対応オプション/エージェント: Tape Library Option
WORM サポート		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
OBDR (One-Button Disaster Recovery) サポート	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○	対応オプション/エージェント: Disaster Recovery Option
アプリケーション サポート												
SQL Server サポート		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	対応オプション/エージェント: Agent for Microsoft SQL
TSL1.2 を有効にした SQL Server のサポート		○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	対応オプション/エージェント: Agent for Microsoft SQL
SQL Server over SMB (Windows Server 2012以降) サポート		○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	対応オプション/エージェント: Agent for Microsoft SQL

※ Arcserve Backup 18.0 以下の旧バージョンでは、一部 Service Pack や公開モジュールの適用が必要となる機能があります。

© 2014-2022 Arcserve (USA), LLC. All rights reserved.

Arcserve Backup for Windows バージョン比較 (Rev: 6.0)

2022年4月13日

凡例 (○: 本体標準機能 ○: オプション/エージェント機能 △: 本体機能で部分対応 -: 機能なし)

機能	Release Version	19.0	18.0	r17.5	r17	r16.5	r16	r15	r12.5	r12	r11.5	備考
		-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
Oracle (Windows) 32bit サポート		-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	対応オプション/エージェント: Agent for Oracle for Windows
Oracle (Windows) 64bit サポート		○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	対応オプション/エージェント: Agent for Oracle for Windows
Oracle (Windows) コマンドによる RMAN 連携サポート		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	対応オプション/エージェント: Agent for Oracle for Windows
Oracle (Windows) RMAN GUI 提供		○	○	○	○	○	○	○	○	-	-	対応オプション/エージェント: Agent for Oracle for Windows
Oracle クロスプラットフォーム (Linux / UNIX) サポート		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	対応オプション/エージェント: (Linux版) Agent for Oracle for Linux (UNIX版) Agent for Oracle for UNIX
Oracle (Linux / UNIX) RMAN GUI 提供		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	対応オプション/エージェント: (Linux版) Agent for Oracle for Linux (UNIX版) Agent for Oracle for UNIX
Exchange Server サポート (DB レベル) → DB 単位バックアップ、DB 単位リストア		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	対応オプション/エージェント: Agent for Microsoft Exchange
Exchange Server サポート (Brick レベル) → フォルダ単位バックアップ、フォルダ単位リストア		-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	対応オプション/エージェント: Agent for Microsoft Exchange
Exchange Server サポート (ドキュメント レベル) → フォルダ単位バックアップ、メール単位リストア		-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	対応オプション/エージェント: Agent for Microsoft Exchange
Exchange Server サポート (Granular Restore ユーティリティ) → DB 単位バックアップ、メール単位リストア		○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	対応オプション/エージェント: Agent for Microsoft Exchange
Exchange Server 回復用ストレージ グループ サポート		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	対応オプション/エージェント: Agent for Microsoft Exchange
SharePoint Server / サービス サポート		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	対応オプション/エージェント: Agent for Microsoft SharePoint
SharePoint Server 詳細レベル リストア サポート		○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	対応オプション/エージェント: Agent for Microsoft SharePoint
Domino Server サポート		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	対応オプション/エージェント: Agent for Lotus Domino
Domino Server トランザクション ログ サポート		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	対応オプション/エージェント: Agent for Lotus Domino
Domino パーティション サーバ サポート		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	対応オプション/エージェント: Agent for Lotus Domino
Domino Server DAOS サポート		○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	対応オプション/エージェント: Agent for Lotus Domino

※ Arcserve Backup 18.0 以下の旧バージョンでは、一部 Service Pack や公開モジュールの適用が必要となる機能があります。

© 2014-2022 Arcserve (USA), LLC. All rights reserved.

Arcserve Backup for Windows バージョン比較 (Rev: 6.0)

2022年4月13日

凡例 (○: 本体標準機能 ○: オプション/エージェント機能 △: 本体機能で部分対応 -: 機能なし)

機能	Release Version	19.0	18.0	r17.5	r17	r16.5	r16	r15	r12.5	r12	r11.5	備考	
		19.0	18.0	r17.5	r17	r16.5	r16	r15	r12.5	r12	r11.5		
高可用性サポート													
3ノード以上のクラスタ (MSCS / MSFC / WSFC) サポート	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	バックアップ対象により、各種エージェント要	
SQL Server: AlwaysOn セカンダリ DB サポート	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	対応オプション/エージェント: Agent for Microsoft SQL	
SQL Server: AlwaysOn プライマリ DB サポート	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	対応オプション/エージェント: Agent for Microsoft SQL	
SQL Server: クラスタ (MSCS / MSFC / WSFC) サポート	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	対応オプション/エージェント: Agent for Microsoft SQL	
Oracle DB: クラスタ (MSCS / MSFC / WSFC) サポート	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	対応オプション/エージェント: Agent for Oracle for Windows	
Oracle DB: RAC サポート	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	対応オプション/エージェント: (Windows版) Agent for Oracle for Windows (Linux版) Agent for Oracle for Linux (Unix版) Agent for Oracle for Unix	
Exchange Server: DAG サポート (プライマリ / セカンダリ DB)	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	対応オプション/エージェント: Agent for Microsoft Exchange	
Exchange Server: クラスタ (MSCS / MSFC / WSFC) サポート	-	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○	対応オプション/エージェント: Agent for Microsoft Exchange	
Exchange Server: SCC サポート	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	対応オプション/エージェント: Agent for Microsoft Exchange	
Exchange Server: LCR / CCR / SCR サポート	-	-	-	○	○	○	○	○	○	○	○	対応オプション/エージェント: Agent for Microsoft Exchange	
SharePoint Server: SharePoint DBのクラスタ サポート	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	対応オプション/エージェント: Agent for Microsoft SharePoint	

※ Arcserve Backup 18.0 以下の旧バージョンでは、一部 Service Pack や公開モジュールの適用が必要となる機能があります。

© 2014-2022 Arcserve (USA), LLC. All rights reserved.